

第9回 村上市歴史的風致維持向上協議会 議事録（概要）

会議名	第9回 村上市歴史的風致維持向上協議会
日時	令和6年10月10日（木）13:30～15:30
会場	村上市教育情報センター会議室A・B（2階）
出席者	<p>【委員】 西村会長、岡崎副会長、武者委員、大竹委員、益田委員、川上委員、吉川委員、船山委員、石井委員、江端委員、本間委員、板垣委員、渡辺委員、山崎委員、平山委員 ※欠席 川崎委員、近藤委員、村山委員、松本委員、三ッ井委員</p> <p>【オブザーバー】 国土交通省北陸地方整備局 染谷調整官</p> <p>【事務局】 遠藤教育長 都市計画課：大西課長、野澤主任、木田主事 生涯学習課：吉井課長補佐、竹内副参事</p>
内容	<p>1. 開会 2. 会長挨拶 3. 市長挨拶 4. 出席委員報告、新任委員紹介 5. 議事 （1）村上市歴史的風致維持向上計画の評価・検証について 資料1にて説明 →原案のとおり承認 ※議事概要については、下記のとおり （2）村上市歴史的風致維持向上計画（第2期）の策定とその方向性について 資料2-1、資料2-2及び資料2-3にて説明 →原案のとおり承認 ※議事概要については、下記のとおり 6. その他 7. 閉会</p>
議事概要	
<p>■議事（1）について 原案のとおり承認。以下議事概要。</p> <p>●歴史的風致維持向上計画が進んで大町の町並みは立派になってきたが、現実には住民の数がどんどん減少しており、現在は25世帯にまで減少した。まちとして、経済的な活性化に結びつかなければ住民増加や住民の満足は得られないと考える。現実、町内会や祭りの維持が大変になってきており、商店街で言えば来年度の事業が実施できない状態にまでなっている。経済的活動を行っている方々の意見も取り入れる場を協議会で設け、次年度以降の計画に盛り込んだ方が良いのではないかと。（益田委員）</p> <p>●これまで空き家をなんとかしたいという相談が何件もあり、これまでは奇跡的に活用したい人が見つかってうまく回ってきていたが、空き家の活用は簡単に実現できるものではなく、3年、5年待つてようやく空き家を利用したい人に巡り会えたりするものである。空き家バンク等とは違う、村上の町家について歴史的な価値を発信する形で町家の利用を促すようなことができればスムーズに行くのではないかと考えている。また、町並みに変化し、まちの魅力が向上してきているわけだが、その先に本当にまちが栄えていくには、店のコンテンツが充実してくる、つまり魅力的な店が入ったり、職人さんが入ったり、情報発信してくれる人が入ってくることが非常に大切だと思う。（吉川委員）</p> <p>●事務局の方から意見を伺いたいところとしては、村上市独自で行っている村上市の歴史的風致形成店舗について、歴史を感じる店のガイドブック等は、広報として載せているところで、それに関してもう少し上手に活用できるのではないかと考えている。この点について委員の皆様から何か考えや思いがあればお聞</p>	

きしたい。(事務局)

→歴史的風致形成店舗に指定され1冊いただいたが、店舗にはやはり50冊なり100冊なり並べ、来訪者に配ることが大事だと思う。そうしなければ本の価値が発揮されない。(益田委員)

→多くの人に知ってもらわなければ効果はないため、SNS等を活用して発信していくことが必要だと思う。

(川上委員)

→ガイドブックは市のHPで公開しているところであり、その他のSNS等の活用については現在行っていない。市の公式LINEやInstagram、フェイスブック等、市が運用しているSNSがあるため、利用上の権利等の確認が必要にはなるが、積極的に活用していくように手法等を検討していきたい。(事務局)

●資料1のP27の大川城関連祭礼等の取組の評価について、府屋獅子舞の獅子舞保存会は一握りのマンパワーで維持継続しているところであり、今回の評価シートに載るものなのか疑問である。獅子舞の価値というものが地元でも共有されていない。府屋獅子舞を例に出したが、全ての伝統行事はマンパワーに頼らざるを得ない状況だと思う。このような状況下で、今後のあり方としては、いかにして人材を育成していくかに尽きると思う。特に小規模な地域で行われている行事は何もしなければ簡単に消えてしまうものなので、早急な課題だと感じたところである。(板垣委員)

■議事(2)について

原案のとおり承認。以下、議事概要。

●資料2-1のP5の⑤に「産業を支援する補助金制度等の事業化を進められないか」とあるが、この会議にぜひ商工観光課長も出席していただけたらどうか。近年、観光課で「ゆかた de 村上まちあるき」という企画を実施してくれており、2年目から町屋通りと連携して進めているが、もっと色々なことができるんじゃないかというアイデアもあるので、ぜひ代表の方に協議会に出席していただき、我々の雰囲気を感じてもらうことが大事かと思う。庁内に政策調整会議があるようなので、これをもっと活発化していただきたい。(益田委員)

●マップについて、複数あるマップをまとめたいという話があったが、その時のポイントとしては、利用者のニーズを取り入れるということ。観光バスで来る人は1時間~1時間半の滞在であり、車で来る人は広域的な動きで、また電車を使い泊まりがけで来る人等、色々な利用者がおり、それぞれの利用者によってニーズが違う。よく見るマップは全体を広く作りたがるが、1時間~1時間半の利用の人はその時間で回るコースを作ってもらった方がありがたいし、車で来る人は広域的にお城を回るコースを勧める等したらいかがかなと思う。(益田委員)

●資料2-1のP5の③について、旧村上町では準防火地域になっているため、直すにあたり燃えても大丈夫な構造で工事を行っていると思うが、あまりそうでない建物もあるようなので、都市計画の方でそれに対する計画があるようであれば進めたいし、他には例えば各家庭に消火器を配布する等、各家庭で対策を取れることが一番だと思う。また、④の伝統行事の将来について、学校教育を通じて県内の学校に声掛けをして来てもらう等、担い手育成との連携を図っていけたら良いと思う。(大竹委員)

●歴史的風致形成建造物の指定について、第2期計画になるとそれがリセットされるということで、例えば来年の令和7年度に指定を受けた建造物は1年間のみ指定され、すぐリセットされるのか。(吉川委員)

→制度上の形式としてはそうなる。ただ、第2期計画移行時に所有者に意向調査等を行い、事情があっても抜きたいという場合のみ第2期計画では指定せず、基本的には第1期計画の指定建造物は継続されるものだと考えている。(事務局)

●資料2-1のP5の④で、維持継承は大事だが、それができない状況もあり、大須戸能においては家系等の関係で誰もができるものではない。先程学校教育と連携してという話もあったが、そこに加えて各地域の区長さんにも協力してもらい、担い手確保に努めていくのが良いのではないかなと思う。(本間委員)

- 資料 2-1 の P10 について、事業区域に無電柱化を進める範囲は入らないのか。(益田委員)
- 無電柱化の安善小路の範囲にも事業区域を広げておくと、その区域内で無電柱化を進めるということになるため、住民等への交渉もしやすくお互いに良いのではないかと。区域範囲については工夫をしていただきたい。(西村会長)
- 区域図の検討にあたり参考にさせていただく。(事務局)
- 重要伝統的建造物群保存地区の指定に向けて進めており、その範囲として大町・小町・庄内町が含まれているので、その制度の補助金がつくことになる。詳細は今後庁内で調整していただく必要があるが、そうになると、この大町・小町に歴まちの補助金を使わなくてよくなり、補助金を使って町並みを整備するエリアを拡大できる可能性がある。(岡崎副会長)
- 資料 2-1 の P12 について、政策調整会議は事務局サイドから関係課に会議を開いて調整をお願いする立場だと思うが、そうすると関係課は自分の担当課に関係のない話だと他人事に見えるものだと思う。一方、(仮称)歴史まちづくり体制推進連絡会議であれば、政策調整会議よりも一緒になって考えるという立場に捉えられるため、このあたりはよく事務局で精査をしていただきたい。(船山委員)
- 先程から地域の行事の担い手の確保が難しいという話をいただいているが、地域振興局の方でそういったイベント事のお助け隊のようなものを作ろうと検討している。その時に、村上市内、新潟県内、あるいは全国どこからでもといった距離によって受け入れるハードルがあるのか、それとも参加したい方の興味関心、熱意のようなものがあればエリアは問わないということになるのか等、内部で議論していた。この点について、今日お集まりいただいた皆さんからどのような方をイメージしているのか教えていただければと思う。(渡辺委員)
- 大町区は、基本的には誰でも良いが、全体と調和を取れるような行動をしていただける方だとありがたい。また、当日の食事代等を寄付により賄っているため、御祝儀を持ってきていただけるとありがたい。法被等は貸すことができる。(益田委員)
- 村上大祭で、馬を引き連れ約 12 km 巡行する行事があり、その際に協力してくれる人が欲しい。来ていただいた方に御祝儀も渡しており、馬が相手のため保険にも入っている。ぜひお助け隊にご協力いただきたい。(川上委員)
- 岩船地区のお祭りでは、子どもが減っており近隣の町内から子どもをお借りしている状況のため、子どもをお借りしたいが、子どもたちの送迎が問題になっている。お助け隊の方で良い案を出していただけるとありがたい。(船山委員)
- 黒塀プロジェクトを進めてきたエリアではこれまで 460m ほどの黒塀ができていたが、老朽化が進んでおり、手が付けられない状態になってきている。そのため、資料 2-1 の P12 の事業区域をこのエリアまで拡大してもらい、維持しやすくなったらありがたい。大切な観光の通りになっているのでぜひこのようなところにも力を入れるように考えていただきたい。(吉川委員)
- 伝統的な行事について、旧朝日村以北で、奉納相撲が現代においても盛んに行われている。ここ 20 年ぐらいでかなり数が減っており、今年確認できているのが市内で 3 箇所ある。現在ほとんど維持できなくなってなくなっているところが多いなかで、まだ村上市内にはこれだけ残っているということを考えると、これを何とか伝統行事として残せないかという声が協議会や関連団体から聞こえてきている。これが歴史的風致に合致するかわからないが、意見として述べさせていただく。また、先程の渡辺委員の質問に対しては、周りと調和が取れればどなたでも大丈夫であり、来るもの拒まずの形で行っている。(板垣委員)